

# 令和2年度実施施策に係る政策評価書

別紙2

(環境省R2-27)

施策名	目標5-6 東日本大震災への対応(自然環境の復旧・復興)					
施策の概要	地域の自然資源等を活用した三陸復興国立公園への再編成、被災した公園事業施設の復旧や復興のための整備に取り組む。					
達成すべき目標	三陸復興国立公園の創設を始めとした様々な取組を通じて、森・里・川・海のつながりにより育まれてきた自然環境と地域のくらしを後世に伝え、自然の恵みと脅威を学びつつ、それらを活用しながら復興する。					
施策の予算額・執行額等	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	1,410	1,300	657	414
		補正予算(b)	-	-	-	-
		繰越し等(c)	▲ 237	234	(※記入は任意)	
		合計(a+b+c)	1,174	1,534	(※記入は任意)	
執行額(百万円)	991	1,444	(※記入は任意)			
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年7月29日 東日本大震災復興対策本部決定) 「復興・創生期間」における東日本大震災からの復興の基本方針(平成28年3月11日閣議決定)					

測定指標	三陸復興国立公園(24年度までは陸中海岸国立公園)の利用者数の推移(千人)	基準値	実績値					目標値	達成
		H23年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
		458	2,850	2,770	2,827	-	-	6,994	-
		年度ごとの目標値		-	-	-	-	-	
	三陸復興国立公園内の利用拠点(集団施設地区)の年間利用者数(千人)	基準値	実績値					目標値	達成
		H17-21年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
		2,975	1,383	1,430	1,466	-	-	2,975	-
		年度ごとの目標値		-	-	-	-	-	
	みちのく潮風トレイル踏破認定証の発行数(人)	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	年度	
		-	213	227	50	15	13	-	-
		年度ごとの目標値		-	-	-	-	-	
	イノシシの捕獲数を前年度実績値以上とする。	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	年度	
		-	588	758	949	2,136	2,252	-	○
		年度ごとの目標値		イノシシ等を安全かつ効率的に捕獲し、被害軽減に寄与する生息状況を目指す。					

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり  (判断根拠) 目標値としている震災以前の利用者数まで届いていないが、震災直後と比較して一定程度利用者数は回復している。また、イノシシの捕獲数については、平成25年度より開始し以後毎年度、被害の低減を図るため安全かつ効率的な捕獲に努め、前年度の実績を上回っており、目標を達成している。
	施策の分析	・当該事業において、三陸地域の重要な観光資源である旧陸中海岸国立公園の主要な利用拠点等の施設を復旧し、利用者数も増大しており、施策の方向性は妥当であると考えているが、更なる利用者数の増大に向け、三陸復興国立公園への編入地域やみちのく潮風トレイルについては、今後も整備が必要である。 ・なお、みちのく潮風トレイルは令和元年の全線開通に伴い踏破認定証の発行方法が変わったため、令和元年度以降はそれ以前よりも発行数が少なくなっている。 ・イノシシの捕獲数は、着実に増大しており、引き続き取組を進めていく。
	次期目標等への反映の方向性	【施策】 ・東日本大震災によって生じた自然環境への被害からの復旧・復興を進める上で、三陸復興国立公園の利用増大を目標とすることが引き続き必要である。 ・その上で、三陸復興国立公園への編入地域やみちのく潮風トレイルについては、一般会計の自然公園等事業により引き続き整備を実施する。 【測定指標】 ・みちのく潮風トレイルについては一般会計により普及啓発を強化する予定であり、利用拠点における利用者数増加を図る。 ・復興に向けてはイノシシの捕獲等を適切に進める必要があり、引き続きイノシシの捕獲数を指標とした上で、目標の達成を図っていく。

学識経験を有する者の知見の活用	—
-----------------	---

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	自然公園等利用者数調
---------------------------	------------

担当部局名	自然環境局 国立公園課 野生生物課 自然環境整備課	作成責任者名	熊倉基之(国立公園課長) 中尾文子(野生生物課長) 佐藤邦雄(自然環境整備課長)	政策評価実施時期	令和3年8月
-------	------------------------------------	--------	--	----------	--------